

こども新聞
週刊がほピヨンス

毎週日曜発行
2026 7/26

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ



はやさかアドバイザーの

学ぼう防災

④0

皆さんが毎日使うスマートフォンやタブレット、ゲーム機、ワイヤレスイヤホン、モバイルバッテリー、ハンディファーン（携帯用扇風機）にはリチウムイオン電池が使われています。リチウムイオン電池は軽くて長持ちし、何度も充電できるため私たちの生活には欠かせない存在です。しかし、その便利な電池が火災の原因になることがあります。6月、仙

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

急増中！
リチウムイオン電池火災

過去最多のペースだよ



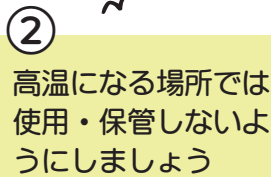
仙台市内で14件
(今年1～6月)

★使用するときのポイント★



①

強い衝撃や圧力を加えないようにしましょう



②

高温になる場所では使用・保管しないようにしましょう



③

充電は、安全な場所で、なるべく起きている時に行いましょう

イラスト・本郷由紀子

異常があれば使用しない

リチウムイオン電池火災

台市営地下鉄の車内でワイヤレスイヤホンの充電ケースが原因の火災が発生しました。皆さんのポケットやかばんの中でも同じことが起こる可能性があります。リチウムイオン電池は、強い衝撃や熱によって内部が傷つくことがあります。スマートフォンを何度も落としたり、モバイルバッテリーをかばんの中に強く押し込んだり、真夏の車内に置き放しにしたりすると、電池が劣化するだけでなく、故障する原因にもなります。布団やソファの上で充電すると熱がこもりやすくなり、長時間、ゲームや動画を楽しむことも機器に大きな負担をかけます。本体が異常に熱い、電池が膨らんでいる、焦げたような臭いがする、煙が出てい

煙が出ていなど異常に気付いたら、使用をやめて体から離して大人に知らせましょう。リチウムイオン電池の火災には大量の水による冷却が有効ですが、子どもだけで対応するのは危険です。火災を防ぐためには、機器を落としたり高温の場所に放置したりしないこと、充電中は熱がこもらない場所に置くこと、製品に合った充電器を使うことが重要です。「少し熱いけれど大丈夫」

「落としたけれど使えるから平気」といった油断が火災につながる可能性があります。スマートフォンやゲーム機、ワイヤレスイヤホンは毎日使うため異常があっても気付きにくいものです。普段から状態を確認する習慣をつけ、小さな異常を見逃さないようにしましょう。「いつもと違う」に気付くことが、火災から命や暮らしを守ることに繋がります。（仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人）

この日 何の日

◇26日（日）ポツダム宣言発表

1945年のこの日、アメリカ、イギリス、中華民国の3国が戦争していた日本に敗北を認めるよう求めた宣言を発表したんだ。日本は当初相手にしなかったけど、8月14日に受け入れて戦争が終わったんだ。

きょうの紙面

2面 やさしいにほんごニュース
3面 連載「古代のモンスター」
4・5面 わが校わがまち スクール通信
6面 聞いて話して こども英語
7面 投稿特集
8面 Let's try 防災クッキング